

# 7・8月も役立つ講座がいろいろ!

## 子育てリフレッシュサロン

◆7月11日(木) 10:00~11:30  
 場所: 参画センター学習研修室 3  
 参加費: 無料  
 託児: あり、無料(1週間前までに要予約)



## 女性のための就労支援講座

「メンタルヘルスについて」  
 7月17日(水) 10:30~12:00  
 講師: 岡田 恵子(キャリアコンサルタント、  
 参画センター相談員)  
 参加費: 無料 定員: 10人程度  
 託児: あり、無料、1週間前までに要予約  
 (生後6か月~就学前の子ども)



## 摂食障がい家族の会

◆7月20日(土) 13:30~15:00  
 場所: 参画センター相談室  
 参加費: 無料



## シングルマザーの会

◆7月15日(日) 13:30~15:00  
 場所: 参画センター学習研修室 3  
 参加費: 無料  
 託児: あり、無料(1週間前までに要予約)



## 男女共同参画のキーワード

### <第68回国連女性の地位向上委員会の開催>

#### <一般討論>

第68回国連女性の地位委員会(CSW)が、3月11日から3月22日までニューヨークの国連本部で開催され、今年の優先テーマ「ジェンダーの視点からの貧困撲滅、機構強化、資金動員によるジェンダー平等達成と女性・女兒のエンパワーメントの加速」を中心に議論が交わされました。我が国からは、大崎麻子日本代表、外務省、内閣府、厚労省、文科省、国際協力機構、国立女性教育会館、NGO代表、ユース代表が参加しました。

加藤純子女性活躍担当大臣・内閣府特命担当大臣(男女共同参画)は、各国政府が自国の女性の地位向上のための取組について発言する「一般討論」にて、ビデオメッセージでステートメントを述べました。加藤大臣はまず、「ジェンダー視点での適切な資金調達がジェンダー平等及び女性と女兒のエンパワーメントのためには不可欠であり、男女共同参画社会の実現・女性活躍の推進が、すべての人が生きがいを感じられ、個性と多様性が尊重される社会の実現のために極めて重要である」と指摘しました。さらにジェンダー平等と女性・女兒のエンパワーメントを阻む構造的要因が複雑に絡み合っていることから、それらの実現のためには、女性の経済的自立をはじめとする複合的なアプローチを採ることが必要であることを説明し、この考えの下、日本政府が毎年6月に

男女共同参画・女性活躍に関する各省庁の施策を「女性版骨太の方針」として取りまとめていることを紹介いたしました。

#### <閣僚級円卓会合>

我が国からは、大崎麻子日本代表が3月13日の閣僚級ラウンドテーブルに出席し、議題「ジェンダー平等と全ての女性と女兒のための資金動員: 女性と女兒の貧困撲滅のための政策と戦略」のもと、日本国内の取組に加え、国際協力機構が発行するジェンダーボンドによる途上国におけるジェンダー平等や女性のエンパワーメントに資する事業への資金調達、「女性起業家資金イニシアティブ(We-Fi)」を通じた途上国女性の資金や市場へのアクセス改善といった国際的な取組を紹介しました。

#### <合意結論>

今回のCSWの成果として採択された「合意結論」では、「北京宣言・行動綱領」や「持続可能な開発のための2030アジェンダ」などに基づく取組を一層強化していく必要性が指摘されるとともに、特に優先テーマに関連して、開発のための資金調達にジェンダー視点を取り入れること、ジェンダーに対応した経済・社会政策※を導入するとともに公的機関の役割を強化すること、多面的な貧困に関するデータと統計を強化することなどが各国政府に要請されました。

(資料: 内閣府 共同参画6月号)

## 知ってる?



# 6月の行事から

6/13

## 転勤者とさぬき人のはじめまして講座 四国水族館を楽しもう!

場所: 四国水族館 参加者: 7人  
 快晴の下、瀬戸内海を背景に、とても景観の良い水族館という印象を持った。今回は転勤者の方が多く、いろいろな話が行く道中や食事の時にできて、皆さん楽しんで下さった。  
 (参加者の感想)  
 「初めての四国水族館でしたが、いろんな方と一緒に楽しく過ごせました」  
 「皆さんにお世話になり、ありがとうございました。」等。



6/21

## 女性のための就労支援講座 働き方とお金の関係

場所: 学習研修室2 参加者: 8人  
 講師: 仁賀順子(キャリアコンサルタント・参画センター相談員)  
 扶養の範囲内で働くとは?税金・社会保険で配偶者控除はどう変わるか?社会保険の負担と給付のメリットについての内容で、これからの働き方を考える内容でした。(参加者の感想)  
 「具体的な事例をあげて頂いたので、とてもわかりやすかった」「個人的な相談も受けたいと思いました。いろいろな方のお話を聞いたことも良かったです」等。

6/20

## さんかく交流サロン 紙粘土でまねき猫をつくろう!

場所: 学習研修室2 参加者: 6人  
 講師: 川村真利子さん(紙粘土作家)  
 紙粘土で作るのは、今回で3回目。6月は可愛いまねき猫を作りました。次回は10月に干支の巳を予定。楽しみです。  
 (参加者の感想)  
 「初めてで難しかったけど、楽しかったです」  
 「とてもキュートなまねき猫ができたので、満足です」等。



6/22

## こころとからだの健康講座 こうじ サプリメントを知る

場所: 学習研修室 1・2 参加者: 10人  
 講師: 鎌野雅子(葉膳麹士・上級麹士・NR サプリメントアドバイザー・参画センター相談員)  
 (参加者の感想)  
 「麹についての種類、菌の働き、紅麹との違いが理解できて、良かったです」  
 「発酵食品を手作りし、健康を守っていききたいと思います」  
 「家で味噌を作ってみたくて参加。色々試してみたいです」

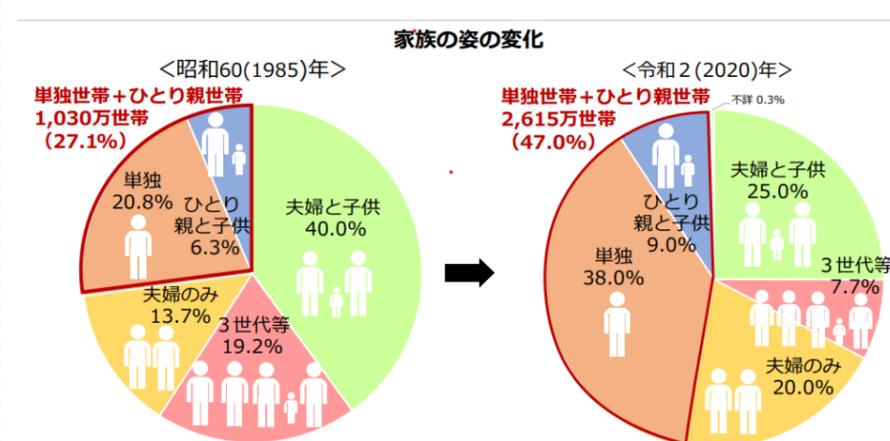


## トピックス

## 令和6年版 男女共同参画白書

### 特集: 仕事と健康の両立

~すべての人が希望に応じて活躍できる社会の実現に向けて



団塊の世代が現役で、家庭のことは妻に任せ、夫は長時間働いていた、いわゆる「昭和モデル」の社会と比べ、現在は生産年齢人口が減少し、高齢化が進展するとともに、家族の姿も変化し、人生は多様化するなど社会が大きく変化している。昭和60年には、全世帯の4割を占めていた「夫婦と子どもの世帯」は令和2年時点では25%となり、「単独世帯」と「ひとり親と子どもの世帯」が約半数を占めるようになった。令和5年時点で共働き世帯数は専業主婦世帯数の3倍となっている。未婚女性の理想も、未婚男性の将来のパートナーに対する期待も、家庭と仕事の両立を望む人の割合が上昇するなど、若い世代の理想とする生き方、働き方は変わっている。